

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当第2四半期連結累計期間（平成21年3月～平成21年8月）の事業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長 竹内 清

当第2四半期（連結累計期間）の概況

当第2四半期連結累計期間においては、リーマンショック以降の世界的な経済混乱からの回復が進まず厳しい国内外の販売環境が続きました。その中で当社が主力とする書画カメラは米国市場における一時的な停滞から改めて需要が拡大し始め、スクール・ニューディール政策が発表された日本をはじめとした各国において初等教育におけるICT（Information and Communication Technology）化（IT機器を活用した授業の活性化）の重要性への理解が深まりました。当社は昨年に設置いたしました英国・台湾のマーケティング拠点ならびに海外現地法人を主体に当期を通じてグローバルマーケティング活動を推進し、国内では3Sサービス（3年間保証等、書画カメラを学校で安心して使っていただくためのサービス活動）を開始し教育現場から高い評価を得ております。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期より円高が進行したことの影響も受け8,184百万円（前年同期比14.2%減）となりました。また、利益につきましても営業利益

225百万円（前年同期比56.2%減）、経常利益は290百万円（前年同期比43.2%減）となりました。四半期純利益は政府より優遇税制の適用を受けておりますタイの生産子会社（ELMO Industry (Thailand) Co., Ltd.）の利益が貢献いたしましたものの243百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

経営トピックス

当社は民事再生手続中のチノンテック株式会社（本社：長野県諏訪市）との間で平成21年7月23日に事業譲渡契約を締結いたしました。

新たに設立いたしました株式会社SUWAオプトロニクスが平成21年10月30日にレンズ、デジタルカメラ・プロジェクト用光学ユニット等の開発、製造、販売事業を承継する予定です。チノンテック株式会社が保有しております豊富な知識・経験と高い光学技術・生産技術は当社グループの拡大に大きな力となり、また、併せて譲受ける中国生産子会社2社は、将来中国において事業展開を図る際の基盤になるものと考えております。

配当状況

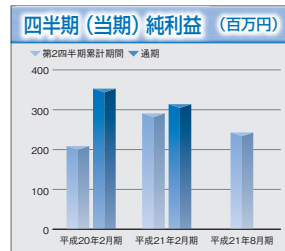
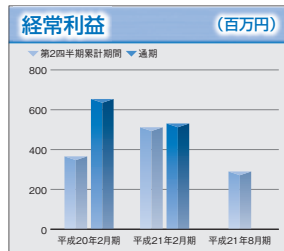
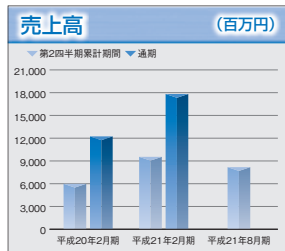
	1株当たり配当金（円） （うち記念配当）			配当金総額 （年間） （百万円）	配当性向 （連結） （%）	純資産 配当率 （連結） （%）
	第2四半期末	期末	年間			
平成22年2月期	(-)	予想 13 (-)	予想 13 (-)			
平成21年2月期	(-)	13 (-)	13 (-)	143	43.6	3.6
平成20年2月期	(-)	10 (-)	10 (-)	98	27.2	2.7

平成22年2月期の期末配当・年間配当については、予想数値です。

平成22年2月期 第2四半期財務・業績の概況

経営成績

経営成績の状況は以下のとおりです。
詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」掲載の平成22年2月期第2四半期決算短信をご覧ください。



売上高

8,184 百万円

(前年同期比 △14.2%)

経常利益

290 百万円

(前年同期比 △43.2%)

四半期(当期)純利益

243 百万円

(前年同期比 △16.3%)

総資産/純資産

11,069 百万円

4,282 百万円

事業の分野別売上高情報

分野別の状況は以下のとおりです。
詳細につきましては、当社ホームページ「投資家の皆様へ」掲載の平成22年2月期第2四半期決算短信をご覧ください。

書画カメラ

4,787 百万円

(前年同期比 △9.0%)

監視カメラ

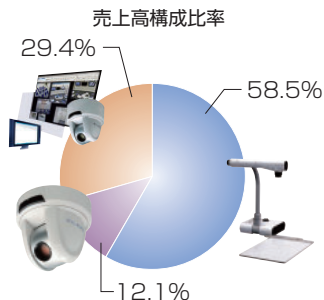
994 百万円

(前年同期比 △29.1%)

映像ソリューション・その他

2,403 百万円

(前年同期比 △16.5%)



平成22年2月期の連結業績予想

(平成21年3月1日～平成22年2月28日)【参考】

(%表示は対前期増減率)

売上高	18,625百万円	4.5%
営業利益	475百万円	△23.9%
経常利益	512百万円	△3.5%
当期純利益	376百万円	19.6%
1株当たり当期純利益	34円	03銭

記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

エルモ社の主力製品 書画カメラ（実物投影機）
初等教育の現場で大好評のL-1が
機能と使い易さをアップ… **L-1ex** として登場！

どの先生方にも子どもたちにも簡単に
使える書画カメラは、ICT教育の最適
ツールとして、国内外の小・中学校の
授業における需要が広がっています。

ICTとは、Information（情報）&
Communication（コミュニケーション）
Technology（技術）の略語です。



新製品は、前機種よりも低価格でありながら、よりキレイで
早い動きもさらにスムーズに映るようになりました。また、
授業で便利な多くの機能とリモコンが追加されています。
リモコンの利用により、先生が教室のどこにいてもL-1exを
遠隔で操作することが可能となり、子どもの机の間を回り、
学習状況を確認しながら授業が進められるようになったと大
変好評です。



新製品

L-1ex #ILEEh

見える、わかる、
イキイキ広がる！